



2020年11月22日主日礼拝メッセージ 日本同盟基督教団クリスチャンプレイズチャーチ

【自分と違うことが間違いではありません！】

説教者：鄭南哲牧師

本日聖書本文エペソ人への手紙4章1-7、11-16節

(Rev. Jung nam-chul)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族の家族のみなさん！一週間もみなお元気でしたか。

ヨハネの福音書17章6-26節のイエス様は十字架の前信じる全ての者たちが一つとなるように祈られた。(11, 21節)

今日のエペソ人への手紙4章の本文ではキリストを信じる信仰の共同体、神の家族に向けて、一つになる事(3-5節)を教えています。一つになることは、同じユニフォームを着ることとかではなく、共に連合(Unity)することだと教えています。2-3節を見ると、「謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛を持って互いに耐え忍び、平和の絆で結ばれて、御霊による一致を熱心に保ちなさい。」と言われました。ここで「一致を熱心に保ちなさい」という意味は、一つになることが難しいので、熱心にならなければならないし、必ず一つにならなければならないので、熱心にそうなるように力を尽くすべきであることを教えています。なぜ、学生たちが頑張る熱心に勉強するのでしょうか。

勉強がたやすいことじゃないから熱心にやらなければならないし、学生としてやるべきことが勉強だからではないでしょうか。しかし、今日の本文11節にも、そして、関連するコリント人への手紙12章にも、一つに熱心になろうとし、なるべき信仰の共同体は、お互いの多様性(Diversity)を持っている事を教えています。つまり、お互いの役割も、賜物も、人それぞれが違う多様性を持っている事を教えて下さいながら、そのお互いが違い多様であることを、理解し合い、認め合いながら、各自の役割が分担され果たすことがまた一つになることであることを教えています。

まるで、スポーツ種目の中サッカーで一つのチームの中で、各自多様なポジションに従って、多様な役割があるように、オーケストラの中で、多様な楽器の音の一つに調和し、音を出した時に、美しいハーモニーの演奏が出来ることと同じです。そして、本文16節に、お互いに多様な存在が各役割を通して、お互いに繋がり、相互的な親密&緊密な関係(Inter-relation)となることが一つになっていくことを教えています。教会の中でお互いに違う多様な人々が互いに理解し合い、共につなぎ合わされ、それぞれの部分はその分に応じて働くことにより共に成長され、愛のうちに建てられることになることを教えています。

ですから、愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！キリストの愛のうちに我らが一層一つになっていくために、まず我らは自分と他の人々のスタイル、性向、何が好き嫌いで大事にしているタイプなのか知ろうとする努力が必要で、それを学んで行くことがとても大切だと信じます。

今日は、特に、私たちの人との全ての関係が一層守れ、回復される為の大切な原則の一つは「お互いの違い」を知り、理解し合って、認め受け入れ合う事だと思っております。ところが、私たちは自分と違う人に対していたい間違っていると思う傾向があります。例え、多くの夫婦関係が難しくなり危機感を感じる一番の原因は何でしょうか。それぞれの事情は違うと思われると思われませんが、お互いが合わないということです。性格があわず、考え方も、好みも、趣味も全然違うため葛藤を覚えているのです。夫婦があまりにも違うからこの結婚の選択は間違っただけというのです。結婚している夫婦なら、このような経験がみんなあると思います。

ところが、愛する信仰の家族のみなさん!事実、夫婦が結婚する前の時を振り返って見れば、恋に落ちて、お互いの魅力感じたのは、彼が、彼女が自分と違った面があったからではないでしょうか。結婚しようと心を決めたころは二人がお互いの違ったところに不便を感じるより、むしろ自分が持っていないところ、弱いところ、違うところがもっと魅力的で素敵だと感じたことではありませんか。しかし、結婚してから、いつの間にか、お互いの違さを認め合うより、自分と同じく合わせてくれないことに不幸を感じてしまいますが、そのように出来るまったく一致している夫婦カップルはだれもいないでしょう。ですからみなさん!夫婦関係から始め、牧場の中で、教会の中で、学校や会社の中でも、お互いが違うということ自体が問題ではなく、お互いの違いを自分がどう理解し、認めているかによって反応の姿勢や感情が変わって来ると思います。

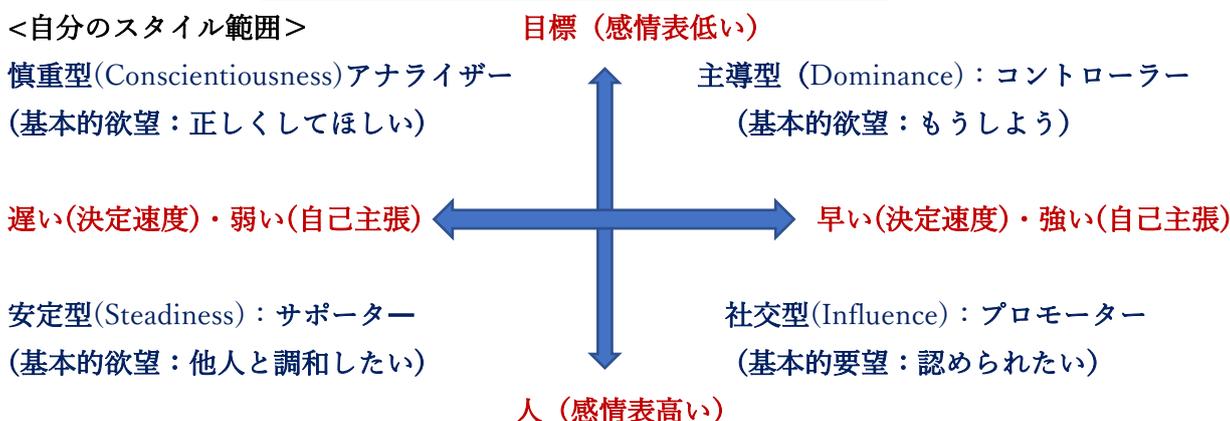
人の違いは男性と女性問わず、育てられた背景も、タイプも、気質(きしつ)も、好みも、大事にしている価値観も、考え方も、みんなが違って同じ人は一人もいません。どうして、相手や他の人のタイプを知っておく事が必要で大切でしょうか。

いちばん、シンプルかつ重要な理由は、「人それぞれ違う」からです。アメリカに行けば英語を、ブラジルに行けばポルトガル語を話さなければ通じません。同じように、相手に合わせて、インターフェイス(接点)を変えなければ、効果的なコミュニケーションを交わすのも、良い人間関係を保つこともできないのではないのでしょうか。

ですから、結論的に言いますと、さらに一つになっていくためには、まず、お互いの違いを知り、理解し認めなければなりません。そのために、4つのDISCというチェックを通して、ご自身と他の方のスタイルはどうか共に学んでみたいと願います。

<自分のスタイルチェック表 (DISC 検査参考)>

<自分のスタイル範囲>



①主導型のスタイル人(D型: Dominance) 教会内10-15% コントローラー

* 聖書の体表的な人物: 使徒パウロ

* コントローラー起業者・経営者の中多いタイプ主導型は大きな会社の会長、メガチャーチの主任牧師、政治家も多い。

目標志向的な人(仕事、業務中心、目標達成中心)・決定速度が速く・自己主張強いです。自分の感情表現が低い
目標志向的な人は、自分の仕事をする時にすぐ集中できます。

決定するスピードが早いのか、遅いのかによって、人の性向(性質の傾向、気質(きしつ))によって違います。

リーダー、特に、トップダウン型の僕について流のカリスマ的なリーダーにもっとも多く見られるタイプ

統率(とうそつ)力やリーダーシップに優れています。

決断力があり、保身的な態度を嫌い、正直であけっぴろげな性格。

自分の内面に目を向けるのは苦手・優しい感情を表すことも苦手。他人から寄せ付けない印象を与える。

自分の内面に他者同様の弱さをみないようするために相手を責める傾向がある。

人の話を聞かず、結論を急ぐタイプです。

<主導型が高いスタイル>

結果を達成するため、反対を克服/人からあしろうこうしろと言われるのを、もっとも嫌うタイプ

状況すべて自分がコントロールしたい、しかし、人からコントロールされるのはいや。

自分のことをコントロールしようとする人には反発する

問題解決のため、すぐ結果を見出すことが好きで、積極的。行動と多様性を要求

自信、断固さ、ある適度のリスクを覚悟することが好き。

圧力や他人との関係へ関心や配慮が不足で人の気持ちには鈍感な方。

そのため、他の方々の気持ち、感情をよく把握するのが足りない。

<主導型のストレス解消>

個人的に目標が達成できないと感情的爆発/肉体的なストレス解消を願う

怒りや感情を直接表現してしまう傾向がある(性格が間違っているのではなく、主導型のスタイルのために)

業務達成はとても迅速(じんそく)ですが、周りの人の感情や気分になんか注意を向けたり、窺(うかが)うことが弱い。

*** 聖書の体表的な目標中心、主導的なタイプD型の人物(使徒パウロ):決定がとても迅速(じんそく)で早い!もうしよう!他の人が建てたところに建てたくない。だったので、とても開拓的な働きを多くされた。**

使徒パウロは、働きたくないなら、食べるな!ストレートなメッセージが多い。今日教会の方々が直接聞くと、気づいたと言われるところが多いかも知れません。使徒の働き 15章36-41節で、パウロは、バルナバと伝道旅行中、バルナバとも激しく、喧嘩する内容があります。バルナバのおいだったマルコを連れて行こうとしたところ、以前第一次伝道旅行途中エルサレムの家にあきらめて帰ってしまい、色々迷惑をかけてしまった前例があったので、目標志向的だったパウロは、適切、効果的ではないとはっきりと主張します。しかし、人中心に、大切にしたいタイプのバルナバはまだ若いマルコの成長のため、以前の過ちや失敗のところを挽回させ、より整えられた者として用いられることを願い、連れて行くことを強く願いつつ、お互いの意見がどうしても一致が出来ず会わず、結局、分かれて別々に伝道旅行を続けることとなります。もちろん、結果的にはさらに神の福音が広がることになりましたが、なので、パウロとバルナバが今日のこういったお互いが間違いではなく、ただお互いのタイプ、スタイルが違ったことを分かっていたならば、よりよい結果が出されたかも知れないでしょう。後、神様は、そのように、パウロはバルナの褒め、マルコを赦し、同労者として受け入れます。お互い認め合い、理解し、和解へと導いて下さったことが分かります。(第二テモテ 4章11節、コロサイ 4章10節)

家庭の中で、家の教会の中で、会社の中でも、神の働きの時さえも意見が食い違い、対立し、葛藤を覚える時も当然あります。その時、どちらが正しいのか、間違っているのかより、まず、お互いのスタイルの違さを認め、理解しようとする努力が必要ではないでしょうか。そして、神様は必ず、一人一人が持っているスタイルを用いて下さいます。

特に、一人一人が持っている長所や賜物を生かして、適材適所(てきざいてきしよ)に遣わし、その人を最大用いて下さるお方であること聖書を通してよく教えられます。

② 社交型のスタイル(I型 Influence) 教会内20-25% プロモーター

*** 聖書の目標志向的でありながら、社交型だった聖書の体表的な人物:ペテロ**

一般的に目標・社交型は、プロモーター(主催者)・営業、俳優、芸能人のようなタイプが多い。

注目されることがとにかく好きなタイプ。人のモチベーションを上げる、アイデアが豊富(ほうふ)で創造力がある。

話しの中心になる、周囲から最上級の表現で誉められる、事を仕切る役を任されるのが好きで、また得意である。

周りから関心の目が向けられている状態を好みます。

誰かの二番煎(せん)じになるのが嫌いで、新しいアイデアを試す事、新しい仕事に挑戦するといったことが、

モチベーションの源となりますが、持続(じぞく)は苦手/人を承認するのが得意で、承認されるのも好き。

いつもべらべらべら話しているようによく話しているような人。

人中心で、楽観的(出かける時、別に慎重派のように、渋滞の時間とか計算しないで、今行けば道路が空いてると思うタイプ)人との関係が目標達成よりもっと重要で優先/人と活気のあることをするのが好き、楽しいことが好きで、エネルギー。/細かいことはあまり気にとめない

言葉がうまく、説得力がある。他の人たちを説得するのが上手で、他の人に影響を与えるのが好き。

心をすぐ開き、自身の感情をよく表現することが出来る。/よく周りの雰囲気アップさせ、楽しくさせれる。

計画を立てたり、計画通りにするのは苦手・新しい仕事を始めるのは得意だが、プロジェクトが進んでからの定期点検と管理は苦手である。飽きっぽい 変化、混乱に強く、順応性が高い

先見(せんけん)性が。 社交的で人気者一緒にいて楽しい人、オープン

人との関わりでは感情表現は豊かで気軽にコミュニケーションを交わす

<社交型が高いスタイル>

周りがよく動機付けや認めてくれると、さらに力を出し切れるスタイル

周りによく影響を与える存在になりたい/人間関係がうまい。感情的に豊かで、よく表現できる

<主導型のストレス解消>

周りから自分が拒否されることを恐れる。

周りからのプレッシャーや圧力を受けることを嫌がる。そうなった時、言葉数が少なくなる。

感情豊かなで表現が多いため、肉体的に、神経エネルギーが主導型より多く使われる。

楽しみと感動が必要。長く続けられない場合がある。

良い意味で、クリエイティブですが、弱点:突然とんでもない考えや行動をする時がある。

ペテロの場合) マタイの福音書 14 章 25-30 節で、イエス様がガリラヤ湖を歩いて来られる姿を見て、ペテロは自分もイエス様のように水の上を歩きたくて、すぐ船から飛びおろしますが、すぐ恐れてしまい、沈みかけている姿が見えます。

ペテロは人に影響を与えることを好んで、とても感情豊かで、感情的な人であったことが分かります。マタイの福音書 26 章 35 節で、ペテロはイエス様に「たとえ、あなたと一緒に死ななければならないとしても、あなたを知らないなどとは決して申しません。」と言われながらも、後 3 度もイエスキリストを裏切ながら、3 度目の時にはイエス様を呪うまでします。

社交的だったペテロの良い面は、肯定的で、情熱的、人間的な温かい面がありますが、

弱いところは、衝動的、まとめが弱いのです。

③ 安定型(Steadiness):人間中心スタイルで、決定が遅い 教会内(一番多い):30-35% サポーター

*** 聖書の体表的な人物:アブラハム:**このタイプにとって大事なのは何と言っても人間関係。ビジネスよりも「人」を優先、人とつながりを大切に、「和」を重んじる。人の心を読むのが得意。

ぎすぎすした関係はもっとも避けたいものの一つで、とにかく「和」を構築するように行動する。

任されたことにはとても忠実・安定的な環境、組織を作ろうとする。他の人と葛藤するのが嫌がる。

一般的に人が好きです。周囲の人の気持ちに敏感で、人の視点に立ってものを見るのが得意で、気配りが上手

人を援助することを好み、相手をよい気持ちにすることに全力を尽くします。

反面、自分自身の感情は抑えがちです。また、人から認めてもらいたいという要求も強いのが特徴

いつも頻繁に相づちを打ってこちらの話を聞いてくれて、ものを頼むとどんなに疲れていても「いいよ」と返してくれるような人。温かく穏やかですが、リスクを冒すのが苦手。

人の期待に応えようとする一方、人からの承認をもとめる。

対立を避ける、ノーと言えない。無意識に相手からの感謝や愛情を求めている。つねに関心を持たれたい

聖書の体表的な人物-アブラハム

創世記 13 章を読んで見ますと、アブラハムの家畜の牧者たちと甥ロトの牧者たちと争いがあった時、もし、アブラハムが主導型のタイプの人だったならば、すぐ、介入し、向こうが間違っただらば、すぐ圧力を加えて、20km以内に入って来ないように線を引いて関係を整理したはずでしょう。アブラハムは葛藤を嫌がるタイプでした。この葛藤を解決するために、ロトにあなたが右の方に行くと、私が左の方に行くと、左の方に行くと、右の方に行くとという姿勢を取って葛藤を解決しようとします。

*** 安定型の弱点:優柔不断、よく決めれない。サライが間違っただらしても従ってしまう。**

例え、創世記 16 章、神がアブラハムとサライの間に必ず子どもを与え下さることを約束されました。

しかし、なかなか待っても子供を産めなかったサライは女奴隷ハガルを通して、子供を産んだ方がどうかとアブラハムに提案します。アブラハムは信仰の人だったのではありませんか。神様が必ず下さると約束されたのだから、妻に叱って、そうりゃ駄目でしょうというべきだったのに、安定型のタイプだったアブラハムは、サライと喧嘩したくなかったから、「はい、

分かった。ハガルと寝る”すんなり聞き入れ寝てしまった結果、イシュマエルが生まれてしまったのではありませんか。とても人格的なリーダーシップなのか、真実と関係なく、すぐ妥協してしまうのかです。この世の中で、この安定型が一番多くいます。

<安定型が高いスタイル>

安定的、感性的、根気よく忠実な面がる。(なので、アブラハムは信仰の父と呼ばれる)

安定的な組織や環境を作るのが好き。

忍耐強く他の人々の話をよく聞いてあげれる。(カウンセラー)

他の人と共感力が高く、静かで、性格的に穏やかな人が多い。

チームの為、協力することに関心を見せます。

新しいことをチャレンジするより、現状維持の為、動機付けられると、そのために忠実に働く。

<安定型のストレス解消>

安定性を失ったり、変化を恐れる プレッシャーを嫌がる

ストレスや葛藤が生じると、寝ながらストレスを解消する。

④ 慎重型(Conscientiousness): アナライザー * 聖書の体表的な人物:モーセ

沈着(ちんちやく)冷静慎重派・目標中心ですが、決定がとても慎重で、遅いスタイル

客観的な視点で、問題解決を行う完全主義者

分析することが好き。物事を客観的にとらえることが好き。

行動を察し分析し、計画を立て、それから行動を起こします。

完全を目指し、当然ミスを嫌います。

よく考えながらじっくりと言葉をつむぎ出して行きます。

感情をあんまり外側に表しません。ですから初対面の人にいきなりプライベートを語るようなことはなく、

十分に関係が出来てはじめて自分の事を話します。

人は好きだが、大人数も苦手で、感情的な表現が苦手

他人を批判することはあまり好まない。孤立しても気にならない。

物事に取り組む前に、データを集め分析する。

プランニングするのが好き。失敗や間違いを嫌う。粘り強く、最後までやり遂げる。

変化や混乱には弱い 安定した安全な人間関係を好む。

明確で論理的な話し方をしますが、自分のことはあまり話さない。

宮殿の中でパロ王の息子として、40年間学び、しゃべり方までよく学んだはず

しかし、決断するべき時、決断力がない。出エジプト3章で、神の山ホレブ山でイスラエルの民をエジプトの地から連れ出すように神がモーセに何度も奇跡を見せながら遣わそうとされても、モーセの反応はどうでしたか。慎重しすぎて何度も断ります。他の人を遣わして下さるように、自分は口が重く、舌が重いから、つまり自分は口下手(くちべた)だから、もっとふさわしいほかの人を遣わして下さるように何度も願います。しかし、その話は本当でしょうか。モーセは40年間当時エジプトという宮殿の中で最高の教育を受けた人ではないでしょうか。本当に口下手な人だったならば、エジプトにいた時、ヘブル人々が喧嘩する姿を見て、そこに入って口はさむことは絶対しなかったはずですが、モーセは他人のごとくに口をはさんだのではありませんか。モーセ自身の中で自分が思っていた基準が高かったかも知れません。学生時代、期末テストの後、もう今回のテストは完全に駄目だったとつぶやいている学生に、何問間違ったの之行くと、いや~もう二つも違ったのと言われる学生のようにモーセも神様が大丈夫だと言われても、自分は何度も駄目だと、他の人がどうかと

言われるほど、慎重派であったことが分かります。

<慎重型が高いスタイル>

とても繊細で、分析的な関心と観察力を持つ。/礼儀重要、賛成反対両論を聞く傾向がある

慎重、正確、抑制（よくせい）する、事実志向的/正確性、品質が大切（会社で品質管理、医者等仕事が適切）

誰かが他の人に対して批判するととても嫌がる。

しかし、自身と違う人に対してとても敏感で批判的です。

<慎重型のストレス解消>

ストレスと葛藤の原因が何かいつも分析しようとする傾向。混沌を嫌がる。

ストレスを受けると、一人でいたい。音楽を聴いたり、一人の時間を持とうとする

慎重型:モーセ、とても慎重。主導綿密、正確を求める、保守的、批判的な面もある

高い基準をもっている。慎重すぎるのは弱点でもある

愛する信仰の家族のみなさん！神様は全ての人々を適材適所(てきざいてきしょ)に配置させ、用いて下さったことが分かります。この世の中長所だけ持っている人は一人もいません。長所にはいつも短所もあるわけでしょう。

例え、マートでフライパンを買ったと考えて見ましょう。今まで使って見たことのとても品質の高い、高級フライパンを手に入れたと考えて見ましょう。こんな良いフライパンを買ったので、とても幸せ！しかし、短所は何だったと思いますか。値段がとても高いということではないでしょうか。反面、とても値打ちのやすいフライパンを手に入れることが出来たと考えて見ましょう。長所は値段が安いですけど、短所は何でしょうか。品質が良くないことではないでしょうか。

ある人は長所だけ持っている人は一人もいません。

我ら一人一人は神によって造られた尊い存在、大切な存在、各違った存在として造られた事を、認める時に、お互いにもっと理解し合い、お互いの多様性を認めることになるでしょう。教会の中で、牧場の中で、家庭の中でお互いに違う事が間違いないことを認め、これからさらに理解し合って共に歩んで行きたいと願います。

<結論>

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！自分一人では変わることが出来ません！成長もできません！御霊の神の実(愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制)の実は、自分一人で結ばれる実では決してありません。お互いの関係を通して、結ばれて行くものです。

それは、隣人との関係、人との関係を通して実られ、成長されて行く実であります。それは、決して自分と気が合う人の関係とか、自分と似てる組み合わせの人々同士で経験される事より、お互いが違ったタイプとの関わりの中で、自分が苦手は人々との関係と交わりの中で、組み合わせられていくプロセスの中で実られ、成長されて行くのです。完璧な出会いなんかはありません。ただ、お互いの違さや多様性をよく理解し合って、意志を尽くし愛し合って行くうちに共に成長されていることを忘れないで頂きたいと願います。いつまでも相手を理解しようとする姿勢を失わないように心かけましょう。全ての関係がこれからも守られ、また回復されて行くために、何よりも、神の御言葉を通して、自分自身やほかの人々をもっと理解し、キリストの愛の心のうちに受け入れ、抱くことが出来るように神の知恵ある心を求めましょう。

これからクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族の各家庭、教会の共同体、各牧場がさらに愛のうちに良いコミュニケーションを取りながら、さらに一つになっていくために、私たちはただ違うという事実！そして、決して違うのが間違っていることではないということをお忘れなく！これからも耐え忍ぶ寛容な心と柔和な姿勢を堅持し、キリストの愛のうちに、互いに顧みて理解し合い、互いの必要に助け、共に支え合って、さらに揺るがず共に力強く建てられて行くクリスチャンプレイズチャーチの全神の家族ととなりますように我らの救い主なるイエスキリストの御名によって祝福し、お祈り致します。アーメン！